



脱炭素チャレンジカップ2023

Zero Carbon Challenge Cup

「2023.2.16 東京大学 伊藤謝恩ホール 茨城県勢2団体が受賞」

＜有限会社 リビング館ホンダ・ひたちなか市立前渡小学校＞

＜プレスリリース要約＞

茨城県地球温暖化防止活動推進センター

「脱炭素チャレンジカップ」は、学校・企業・自治体などの多様な団体が展開している脱炭素を目的とした地球温暖化防止に関する地域活動について、書類審査、プレゼンテーション審査を行い、優れた取組を表彰している全国大会です。

地球温暖化防止全国ネットとセブンイレブン記念財団が共催し、賛同いただく事業所の協賛、環境省・文部科学省が後援するアワードとして13年目となります。大会には、全国199の応募の中から厳選な審査を経てファイナリストとなった28団体が出場して活動動画による最終審査が行われ、大臣表彰6団体を含む24の各賞が決まりました。

茨城県からは、昨年8月25日に当センターが主催した予選会(クールアースいばらき大会)で、同点最優秀となった「有限会社 リビング館ホンダ」と「ひたちなか市立前渡小学校」の2団体を推薦。事務局審査の結果、2団体ともにファイナリストとなり各賞を受賞することができました。

会場には出場団体関係者、地球温暖化防止活動推進員や協賛団体など約150人が来場されました。

＜受賞内容＞

- ・有限会社リビング館「審査員特別賞」

当アワード審査委員長である 国立環境研究所地球システム領域 上級首席研究員 江守正多 様より授与
省エネ及び電磁波が出ないLED照明の開発を経て2012年にRYUJINを発表し、低炭素杯2014にてソーシャルイノベーション賞を受賞。その後、様々な農作物の成長を促す波長変換LEDの開発において葉物野菜に効果が出たことから、交流のある沖縄県で「海ぶどう」の生産向上に成果を得た。

この技術と太陽光発電と蓄電、雨水による散水を併用することで、本州で再生可能エネルギーによるコーヒー栽培を可能とした。苗は沖縄県の東村から沖縄県地球温暖化防止活動推進員より届けていただき、地元の小美玉 島田幸三 市長や茨城空港に就航しているスカイクも出演。SDGs達成とカーボンニュートラルシティをいち早く目指すことを発表。



- ・ひたちなか市立 前渡小学校「ユニ・チャーム最優秀やさしさでささえる賞」

ユニ・チャーム株式会社 執行役員ESG本部長 上田健次 様より授与

2000年頃、子どもたちが学び遊べる観察園を造りたいと発案したのが始まりである。藪であった裏山を整備する際、教職員はもとよりPTA、地域のおやじの会、地元企業など多くの方の協力をいただいた。その後、児童の自然観察や体験学習を中心に行っている。特に、隔年等で初夏にホタルの放流を行うとともに、ピオトープ学習会、ホタルの観察会を継続し、よりよい環境の維持のために何ができるかを考えさせている。本年度、学校内では省エネ活動にも注力。環境省の「うちエコ診断を30家族が実施」学校だけでなく家庭の省エネも実践して脱炭素への意識が向上しました。



<受賞の様子>



有限会社リビング館「審査員特別賞」受賞



前渡小学校「最優秀やさしさでささえる賞」受賞

<脱炭素チャレンジカップ：パネルディスカッション>

大学3年生で茨城県地球温暖化防止活動推進員の高橋克英さんがファシリテーターをつとめ、パネルディスカッションが開催されました。東京大学未来ビジョン研究センター教授の高村ゆかり様からの基調講演、本大会にてアイデア賞を受賞した大妻中野高等学校の生徒さんと高畑政子さん、大会アンバサダーで逆川こどもエコクラブ中学2年生「tv asahi 危険生物博士ちゃん」の浅利圭吾くんが登壇し、脱炭素化は実現できるのか?について大人とユース世代の意見を集約する機会となりました。



パネルディスカッションの様子

<表彰式：会員事業所がプレゼンターとして登壇>

当センターの会員事業所様から脱炭素チャレンジカップに特別協賛されている「勝田環境ホールディングス」、「レンゴー株式会社様」、「サラヤ株式会社様」が企業表彰として登壇されました。勝田環境ホールディングス様は【最優秀カーボンニュートラル賞】を大阪府立堺工科高等学校 定時制の皆さんに授与。副賞「干し芋いっぱい」を添えて、望月福男代表取締役様より読み上げられました。



表彰状を授与する勝田環境ホールディングス 望月福男 代表取締役様

<脱炭素チャレンジカップ2023主催・協賛団体一覧>

主催 脱炭素チャレンジカップ実行委員会

委員長：小宮山 宏 共催：地球温暖化防止全国ネット、セブン-イレブン記念財団

特別協賛：ユニ・チャーム、ニトリ、勝田環境ホールディング

協賛：日本WPA、ユタコロジー、新田ゼラチン、レンゴー、サラヤ、炭素会計アドバイザー協会、日本マクドナルド、SOMPO環境財団、ウェイストボックス、チェックフィールド、脱炭素化支援、東部燃焼、ホテルネットワークmito森久、ECl、アクトリー、i3experience、北越コーポレーション、Pure Cycle いばらき、リサイクルパーク、エコツアー技術研究所、水戸ヤクルト販売、ジーエスケー茨城、水戸さくらロータリークラブ、エコドライブ研究所、ウォータースタンド、東北おひさま発電、ダイキンHVACソリューション東京、JX金属、トイント、フェニックス・コンタクト

後援：環境省、文部科学省、プラチナ構想ネットワーク、国連広報センター

<プレス発信：茨城県地球温暖化防止活動推進センター(一般社団法人茨城県環境管理協会)>

★TEL029-248-7431 FAX029-240-1270 e-mail ibaonse@kankyokanri.or.jp